

第1章 計画概要

1 位置づけ

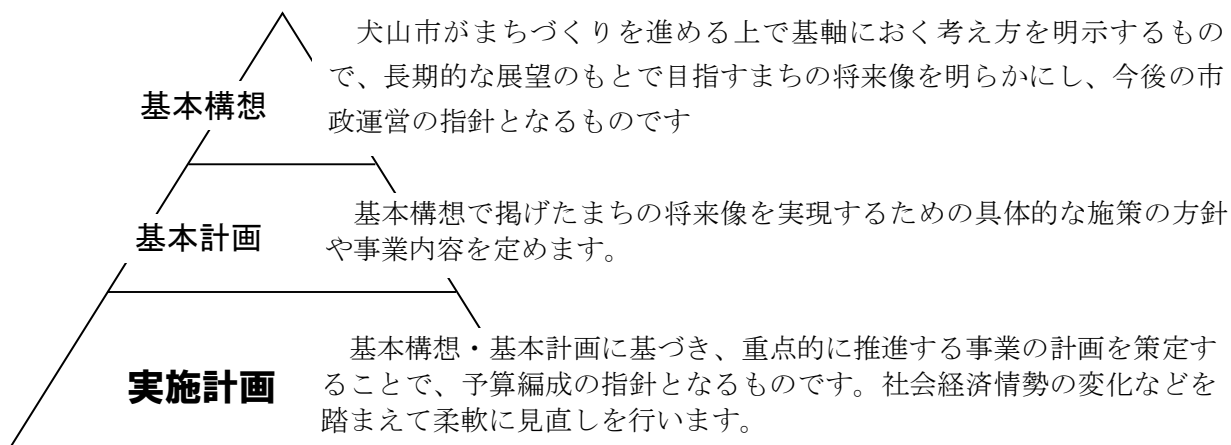
平成28年度に改訂を行った第5次犬山市総合計画は、市の長期的まちづくりの方向を示す最も基本となるもので、「基本構想・基本計画・実施計画」で構成されています。

実施計画は、総合計画によって示された基本構想・基本計画に基づき重点的に推進する事業を選択し、その中期的な計画を策定することで、予算編成の指針となるものです。

〈目指すまちの姿〉

人が輝き 地域と生きる “わ”のまち 犬山

〈総合計画の構成〉



2 期間

平成29年度～平成32年度

3 構成

第5次犬山市総合計画改訂版では、まちの将来像を実現するため、計画期間の後半において特に重点的に取り組む、「3つの重点施策」を設定しています。

実施計画は、この3つの重点施策に関連した事業を中心として構成します。

第5次犬山市総合計画改訂版重点施策（平成29～34年度）

重点施策1 活躍の場づくり「学びと遊びのまちへ」

重点施策2 産業の活性化「商売繁盛のまちへ」

重点施策3 定住促進「多様な暮らしができるまちへ」



第2章 まちの将来像を実現するための主な事業

1 計画策定にあたって

平成28年度実施計画の策定にあたっては、想定を大きく上回る速度で人口減少・経済の縮小が進行するなかで、27年度に策定した「いいね！いぬやま総合戦略」、さらには、総合戦略の内容を踏まえつつ、近年の様々な社会情勢の変化に対応し、「可能性のトビラを開く」ことに主眼をおいて見直しを行った第5次犬山市総合計画との連動性を強く意識して作業を行いました。

また、依然として厳しい犬山市の財政状況の中で、計画の実効性を高めるために「重点的に推進する事業を選択し、予算編成の指針とする」という計画策定の目的に立ち返り、計画の策定段階で各事業の評価を行い、その結果を予算配分に反映するなど、予算編成作業との連携強化を図りました。その結果、策定された計画は、4年間の計画期間の内、直近となる平成29年度予算を特に注視したものとなっています。

【平成29年度予算の概要】

平成29年度一般会計当初予算の規模は、230億8,489万1千円で、対前年度比で3,788万8千円、0.2%の減額となっています。

歳入は、市税全体では、前年度比3億5,277万5千円の増額となる114億5,026万8千円を見込むものの、地方交付税の大幅な減額が予想されます。

歳出については、前年度と比較して扶助費などの社会保障に関する費用が増加しています。新体育館の完成などにより、土木費は減少していますが、近年の大型事業実施により公債費が増加しており、歳入と歳出の乖離である財源不足分を財政調整基金からの繰入金により補填するなど、市の財政は依然として厳しい状況が続いています。

2 3つの重点施策

平成28年度実施計画では、第5次犬山市総合計画改訂版に示されている3つの重点施策を中心に事業を推進していきます。この3つの重点施策は、まちの将来像である「人が輝き 地域と生きる “わ” のまち 犬山」を実現するために、計画期間の後半6年間において特に重点的に取り組むべき施策を定めたものです。

重点施策に基づく重要事業として、平成29年度以降に展開する事業は、「平成28年度実施計画事業一覧表」のとおりとなります。



重点施策 1 活躍の場づくり 「学びと遊びのまちへ」

- ◆地域課題を解決するための活動支援(市民活動・起業支援)
- ◆感性を育む学びの場づくり(授業改善・犬山の特性を活かした学びのまち実現)
- ◆「犬山で何かをしたい人」を応援(市民活動支援)
- ◆まちづくりの担い手育成(若者・女性・シニア)(市民活動支援)
- ◆人材バンクの構築・運用と「人・モノ等」のマッチング支援(豊富な地域資源(人・モノ)の活用)

重点施策 2 産業の活性化 「商売繁盛のまちへ」

- ◆新たな交流拠点の形成(駅設置の可能性検討ほか公共交通の充実)
- ◆魅力ある商業地の整備
- ◆地産地消を促進し犬山の特性を活かした施設誘致
- ◆商業集積ラインの設定(買い物利便性向上)
- ◆企業誘致(工業団地の整備、雇用環境の向上)
- ◆時代に合った農業の展開と活性化(農の新たな担い手育成)
- ◆インバウンドに対応する体制の充実(観光施設間の連携等)

重点施策 3 定住促進 「多様な暮らしができるまちへ」

- ◆既存ストックの活用(空き家、空き地、遊休農地、公共施設等)
- ◆地域ごとの交流の場形成(交流の機会と場づくり)
- ◆交通体系の充実(バス等公共交通の利便性向上)
- ◆子育て支援の充実(子どもを持つ喜びを)
- ◆地域で支えるまちづくり(高齢者・障害者福祉の充実)
- ◆多様な住まい方の実現(町家の保存活用、優良田園住宅制度の活用等)
- ◆効果的な情報発信(見せ方・伝え方の工夫)
- ◆災害に強いまちづくり(防災力の向上)
- ◆健康づくりの推進(生活習慣病重症化予防)
- ◆財政運営の適正化



<実施計画事業一覧表の見方>

①重点施策

第5次犬山市総合計画改訂版の3つの重点施策毎に重要事業をまとめています。

②重要事業

第5次犬山市総合計画改訂版における施策番号や事業名、事業概要が示してあります。

③年度別の主な事業計画

平成29年度～32年度における年度ごとの主な事業内容を示してあります。

④計画期間概算事業費

平成29年度～32年度に計画している事業にかかる費用の合計を示してあります。

※現時点での概算であり、社会情勢の変化や事業実施方針の見直し等により変更する場合があります。

番号	重点施策	重要事業			年度別の主な事業計画				計画期間概算事業費 (百万円) ※平成29年度～32年度 事業費の合計	担当課	
		施策番号	施策事業名	個別事業名	事業概要	第1次(平成29年度)	第2次(平成30年度)	第3次(平成31年度)			第4次(平成32年度)
1		061 062 063 281	企画政策	(長務)協働のまちづくり 基本条例	市民の積極的な参画による行政運営を実現し、協働のまちづくりを推進するため、協働の基本ルールなどを定めた(長務)協働のまちづくり基本条例について検討する。	○事業費概算の実施 ○市民会議の開催 ○職員研修の実施	○有識者会議による条例案の検討			4,197	企画広報課
2		061 062 063	企画政策	人材活躍の場づくり	官民の協働による行政課題の解決に向けて、具体的な取組みを実施しながら、担い手となる新たな人材の発掘・育成を行う。	○稼働面作成スキルアップ支援 ○犬山チャンネル開局・運営	○犬山チャンネル運営	○犬山チャンネル運営	○犬山チャンネル運営	73	企画広報課
3	重点施策1	061 062 063 281	市民活動支援	人材活躍の場づくり	犬山じゅうのうたがまの課題を「自分ごと」として考える「市民総動員」による課題解決を目指すために、多様な人材が参加するための場づくりを行う。	○人材バンクの構築 ○「活躍できる場」の設営 ○地域や行政の課題解決に向けた対話の場の開催 ○「活躍の場づくり補助金」を利用したモデル事業の企画・実施	○人材バンクの運営 ○地域や行政の課題解決に向けた対話の場の開催 ○「活躍の場づくり補助金」を利用したモデル事業の企画・実施	○人材バンクの運営 ○地域や行政の課題解決に向けた対話の場の開催 ○「活躍の場づくり補助金」を利用したモデル事業の企画・実施	○人材バンクの運営 ○地域や行政の課題解決に向けた対話の場の開催 ○「活躍の場づくり補助金」を利用したモデル事業の企画・実施	27,588	地域安全課

①重点施策

②重要事業

③年度別の主な事業計画

④計画期間概算事業費

